

山形市市民活動支援センター連絡協議会 懇談会 議事録	
日時	平成 29 年 9 月 26 日（火） 午後 7 時～9 時
場所	山形市市民活動支援センター 会議室 B
出席 (11名)	山形市企画調整部企画調整課協働推進係 係長 菊地弘史 様 山形市市民活動支援センター 所長 齋藤和人 様 山形女性医師ネットワーク（池田） NPO 法人環境ネットやまがた（大場） カジョウコミュニオン（吉田（直）） NPO 法人 山形自立支援創造事業舎（齋藤（淳）） NPO 法人まちづくり山形（村中） NPO 法人しん（安喰） NPO 法人山形県喫煙問題研究会（櫻井） 山形大花火大会サポータークラブ（高橋） NPO 法人山形の公益活動を応援する会・アミル（佐藤）
記録	（特活）山形の公益活動を応援する会・アミル（佐藤）
議 題 （次 第）	
1. 開会の挨拶 2. ご挨拶（菊地様、齋藤様） 3. 懇談（テーマ「『やまがた市民活動まつり』が 10 周年を迎えて」） 4. 閉会	
概 要	
<ul style="list-style-type: none"> <li>山形市企画調整部企画調整課協働推進係から菊地弘史係長に、山形市市民活動支援センター（以下、センターと表記）から齋藤所長にお越しいただき、「『やまがた市民活動まつり』が 10 周年を迎えて」というテーマで、当会役員と意見交換を行った。各出席者が意見を述べた。</li> </ul> <p>（1）次回の市民活動まつりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今回は、「記念講演会」「ミニシンポジウム」「まん福 Map 加盟店フードコーナー」などを 10 周年記念事業として行う。市やセンターにも協力をお願いしたい。（池田）</li> </ul> <p>（2）市民活動まつりのあり方について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>労力をかけた分だけの効果があったのか、きちんと分析する必要があるのではないか。（吉田）</li> <li>分析までしなくても、継続して開催できているので、効果は充分ではないか。（村中、安喰）</li> <li>市民活動まつりが団体から発表の場として一定の評価を得ているなら、それで良いのではないか。（村中）</li> </ul> <p>（3）協議会のあり方について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>会員数が減少傾向にある。当初はたくさんの会員がいた。お互い危機感を持つべきではないだろうか。（吉田）</li> <li>多くの団体が協議会に入ってくるには、メリットが必要と思われる。（大場）</li> <li>協議会は、いろいろな団体がゆるやかにつながっている状態で良いのではないか。（安喰）</li> </ul>	

#### (4) 山形市の市民活動について

- ・定住自立圏の形成協定で、今後、上山市の市民活動団体もセンターを利用できるようになる予定。(菊地)
- ・山形市が行っているNPOに対する支援がトーンダウンしてきている気がする。(大場)
- ・縦割り行政なためにできることが限られている。そのようななか、分野をこえて地域づくりの観点からNPOに期待されているのではないか。(齋藤(和))
- ・実感として、山形においては、特定の団体が頑張ろうというよりも、他の団体を巻き込んだ活動が増えてきている気がする。(村中)
- ・NPOだからといって甘えていられる時代は終わったような気がする。株式会社など組織形態の1つにすぎない。若い人を巻き込み活動するような、共有化の姿勢がNPOの活動にはもっと必要と思う。(村中)

#### (5) センターのあり方について

- ・センターの対応が良く助かっている。指定管理者が活動しやすいように行政から支援を強化して欲しい。(安喰)
- ・指定管理者を規則でガチガチに縛るのではなく、センター内で収益活動ができるように、目的外使用もある程度は認める方向でいかないと、今後の市民活動の広がりが感じられなくなっていくように思う。(大場)

#### (6) その他の話題

- ・今回の山形市市民活動支援センター指定管理者の募集から決定までの流れについて
- ・街なかのセブンプラザ再改築や十字屋の撤退について
- ・大型プロッターの利用について

#### (7) その他

- ・市民活動まつりのふりかえりなど、協議会内で行うべき議論と、懇談会の場で議論すべきものと分けるべきではないか。(齋藤(和))